

令和7年度 国安地区タウンミーティング 発言要旨

【日 時】令和7年7月23日(水)19:00~20:30

【場 所】国安公民館 2階 集会室

【参加者】地域:26人(国安地区連合自治会長ほか)

市:市長、副市長、建設部長、国安公民館長(司会)

【テーマ】(1)通学路等の安全対策

(2)フリートーク

R7.7.23 当日の発言内容

(1)通学路等の安全対策

▶通学路グリーンゾーン設置

■参加者

- ・国安小学校周辺は車の交通量が多く、工場などが点在している。大型車両が通学路に進入するので、潜在的に危険な状態である。
- ・地域では児童の登下校時にボランティアや愛護班が見守り活動をしているが、安全対策として国安小学校前の道路にグリーンゾーンを早急に設置してほしい。道幅も考慮する必要があると思うが、周辺の小学校にはグリーンゾーンが設置されているが、国安には白線しかない。
- ・通称桑村本通りも通学路になっているが、白線もないので、ラインを引く等の対応をしてほしい。
- ・片側だけラインが引かれているようだが、この場合、行きも帰りもラインが引かれている側を通るのかわからないので市の見解を教えてください。

●建設部長

- ・学校関係者、警察、道路管理者、PTAで構成されている「西条市通学路安全推進連絡協議会」を立ち上げ、危険な場所を毎年各小学校から市に挙げてきていただいている。
- ・その要望内容について、道路管理者、PTA、地元の方、防犯協会の方々と現地確認して、協議会の中で対策している。
- ・小学校前の国安通り(市道高須西中線)の路肩のカラー舗装については、令和5年度に要望が出てきていて、令和8年度以降に実施予定。要望範囲が長く、国費も活用するので複数年(3~4年)かかる見込み。
- ・令和6~7年度では交差点のカラー舗装を優先的に4か所行う予定。

■参加者

- ・グリーンゾーンに関して、可能であれば、自転車通学する子どもが多い、東予西中学校までの道(桑村通り)も対応してほしい。

●建設部長

- ・国安通りのグリーンゾーンについては、小学校から2年前に要望を受けているが、桑村通り(市道桑村本通

- 線)に関しては、小学校から要望は出ていない。桑村通りの件も安全推進連絡協議会の中で検討していく。
- ・また、中学校においては通学路という概念がなかったと思う。
 - ・協議会以外にも自治会からの要望を受け付けるが、国安通りを優先して対応したい。

▶小学校周辺の速度規制強化・大型車両の通行規制

■参加者

- ・小学校東側の道路は 50 km規制になっており、この辺りに慣れていない人はスピードを出す。速度規制ができないとしても注意喚起のために学校や通学路があることがわかるような表示を検討いただきたい。

●建設部長

- ・西条西警察署から公安委員会に上申する形になると思うが、まずは、西条西署が速度規制を必要と認識してもらうことになる。
- ・市から交通課にも可能性等を確認させていただきたい。

■参加者

- ・小学校前の国安通りは、以前通学時間帯である 7 時半頃に大型車両が進入してきていたが、企業側に時間を少し遅らせてもらうよう依頼した。
- ・県道孫兵衛作壬生川線において、国安石油からファミリーマートがある交差点の区間が、7 時から8時半まで大型車両の通行規制がかかっている。それを回避するために壬生川方面から来る車両が左折し、幅が狭い道を通行して危険である。

●建設部長

- ・速度規制や速度規制した場合に、それに伴う車の動きを同時に考えることができないか警察とも協議できればと思う。

●市長

- ・警察と市担当部にて折衝させていただく。すぐに回答することは難しいので、お時間をいただきたい。

▶高田地区内の通学路の速度規制

■参加者

- ・高田から国道 196 号に抜ける通学路は速度規制がないため、時速 60 kmとみなされている。
- ・線路より東側には民家があるため、スピードを緩めているが、線路の手前まではスピードを出す車が多い。時間指定があってもかまわないので、30km規制にしてほしい。

●建設部長

- ・当該市道は法定速度 60 km規制であることを西条西署に確認済。
- ・ただ、地元から警察に対しても同様の要望が多いことから、警察は「速度取締まり強化路線」と位置付け、パトロールと取り締まりを強化する。

- ・また、市と警察による「ゾーン 30(一定エリアを 30 km規制)」導入の協議を進める。(現時点で、国安地区では未導入)
- ・令和 8 年 9 月 1 日には道路交通法の改正により、1 車線道路のセンターラインがない道路は原則 30km 規制となる予定。

▶地区内の南北を走る道路の拡幅

■参加者

- ・近所は高齢者や単身者が多いのだが、南北の道は狭く、救急車が入りづらい状況。
狭い道路に救急車が長時間停車して、道をふさいでしまうこともあるので、なんとか広くできないか。
- ・地区内は空き家、空き地が多い。道が狭いことから、若い世代が家を建てないと思うので、考慮して開発を進めてほしい。

●建設部長

- ・いろいろな地域で消防車、救急車が入らないという声がある。4m以上を市道に認定しているが、近年自動車が大型化しており離合できないこともある。
- ・道路拡幅に関しては、沿線の土地所有者の協力がないと話が進まないのので、地域の方で話をまとめたいただけると、具体的な話を進めていくことができる。
- ・空き家、空き地問題について、西条市全体の空き家率は約 21%という状況。空き家の管理が行き届いておらず、生活環境が悪いというお叱りが多い。建物が建っていると固定資産税が減免されることから老朽化してもそのままにしている場合が全国的に多い。
- ・西条市でも国の補助金を活用して、「老朽危険空家」に認定された場合、除却費用を一部補助している。(上限 80 万円)ただし、除却後1年間は売却できないという条件がある。
- ・きちんと空き家が除却されていけば、新しくその土地が生まれ変わる。その時に、セットバックをしていかなければならない法律があるので、4mの道路となる。

■参加者

- ・南北を走る道の真ん中に、市有地がある。利用していないので活用してほしい。

●副市長

- ・後日詳細な場所を確認させてもらいたい。

▶水路への蓋を設置

■参加者

- ・国安通り国安上集会所本妙寺三叉路の道が広いところと狭いところがあり、通学路になっている。その間に土地改良区の水路があるが、水路の蓋がかかっていない。蓋がされていれば、車の離合ができるので、国安通りを通らずに住宅街に入ることができる。
- ・通学時間、通勤時間が重なっているので、より安全になるのでは。
- ・2 か所目は県道に向かうほうの三叉路、蓋がかかっていない。

●建設部長

- ・土地改良区の同意が必要。蓋をかけた場合、管理は地元になる場合が多い。現地確認をしたい。公民館に一度お返しをするか協議したい。

▶小学校西側の農道の陥没修理

■参加者

- ・約 1 カ月前、小学校の西側農道に部分的な陥没があった。市教育委員会に対応してもらい、レミファルトで覆ってもらったが、足で踏むと不安定な感じなのでしっかり整備してほしい。
- ・児童クラブを利用する保護者の車が通行する際、陥没が大きくなって事故につながるのではないかと不安を感じる声が上がっている。
- ・職員が使用している駐車場にも穴が開いているところがあり、市教育委員会に要望している。早急な対応をお願いしたい。

●建設部長

- ・農道は土地改良区の管轄になるが、土地改良区には予算もなく、農家も補修不要という状況。
- ・補修が必要な場合、児童クラブと教員の駐車場として利用されているため、市及び市教育委員会で対策を協議したい。
- ・レミファルトは危険回避のための応急処置としての穴埋めとなるので、抜本的な対策を検討したいので持ち帰らせていただきたい。

(2)フリートーク

■参加者

- ・人口減少が進んでおり、どのような対策をしていけばよいか考えている。
出産可能な年齢の女性人口が減少していることが一因だと思う。経費の削減方法を考えていかないと、次世代への先送りとなる。
- ・ごみの有料化も含め、ごみ処理施設の広域化を考えていく必要があるのでは。

●市長

- ・ごみ袋に関して、旧指定ごみ袋の使用時期について、ご心配とご迷惑をおかけした。12月30日まで延長したが、それ以降の再延長はないので、ご理解いただきたい。
- ・処理施設の更新に関して、広域化を進めるかどうか、これから新居浜と西条市で検討を進めていく。様々なデータが出揃っていない状況ではどちらがよいか言えない。来年度以降だと考えている。
- ・個人的な印象では甲乙つけがたい。概算では、広域化した方が1割ほど安いと聞いているが、予算も含め吟味していく必要がある。
- ・人口減少対策のため、一定の時間を要するが、若い世代がしっかり働けるように企業誘致を進めていきたい。
- ・県が278億円かけて、ひうちの土地30haを埋め立て、地盤改良しており、来年度完成予定。新しい企業

を誘致していきたい。

- ・西条市にも半導体関連企業が多く、東予地域は 1 兆円以上の産業生産高を有しているのので、県も期待していると考えている。地域の皆さんにも歓迎する気持ちを持っていただきたい。
- ・移住促進のために教育、子育て世代への支援の充実も図る必要がある。
- ・全国市長会が給食費の無償化を推進している。国にしっかり要望していきたい。
- ・詳細は広報 8 月号に掲載しているが、LOVE SAIJO ポイントを上限2万円のチャージで 10%上乗せ付与するキャンペーンを実施する。東予地域では東予北地域交流センター、壬生川公民館、西部支所にて、期間限定で特設窓口を設けるので、ぜひ利用してほしい。